

株式会社バイ・テクノロジー
2023年3月期 第1四半期決算
補足説明資料

2022年8月10日

将来見通し等について

▶ 将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

▶ 為替リスク

当社の主力製品である、半導体およびフラットパネルディスプレイ製造装置の輸出販売は、原則円建てで行われております。一部に外貨建て決済もありますが必要に応じて受注時に為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしております。従って、装置販売に関する為替レート変動による影響は軽微であります。

▶ 数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

▶ 報告セグメントの変更等に関する事項…【2023年3月期Q1より変更】

従来、当社グループの報告セグメントは「FPD事業」及び「半導体事業」を報告セグメントとしておりましたが、収益構造の変化に対し、経営上の管理区分の見直しを行ったことにより、当第1四半期連結会計期間より、「FPD装置事業」及び「半導体・フォトマスク事業」の区分に変更し、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」としてセグメント情報を開示しております。

なお、前連結会計期間のセグメント情報は、製品群見直し後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

連結業績サマリー

- ▶ **事業環境** : 会計期間中の設備需要は半導体・フォトマスクは堅調も、FPDは低調
- ▶ **Q1業績** : 前期比減収減益も通期予想の想定範囲内
- ▶ **表内①～④についての補足説明**
 - ① 売上高 : 主に中国ゼロコロナ政策等の影響でFPDが減速、前期比▲5,299百万円
 - ② 売上総利益率 : G10.5対応露光装置の売上計上によるミックス改善で前期比+4.9%
 - ③ 営業利益率 : 売上総利益率改善も売上減大きく前期比▲4.2%
 - ④ 経常利益率 : 為替相場の変動により外貨預金等に差益発生、前期比+4.6%

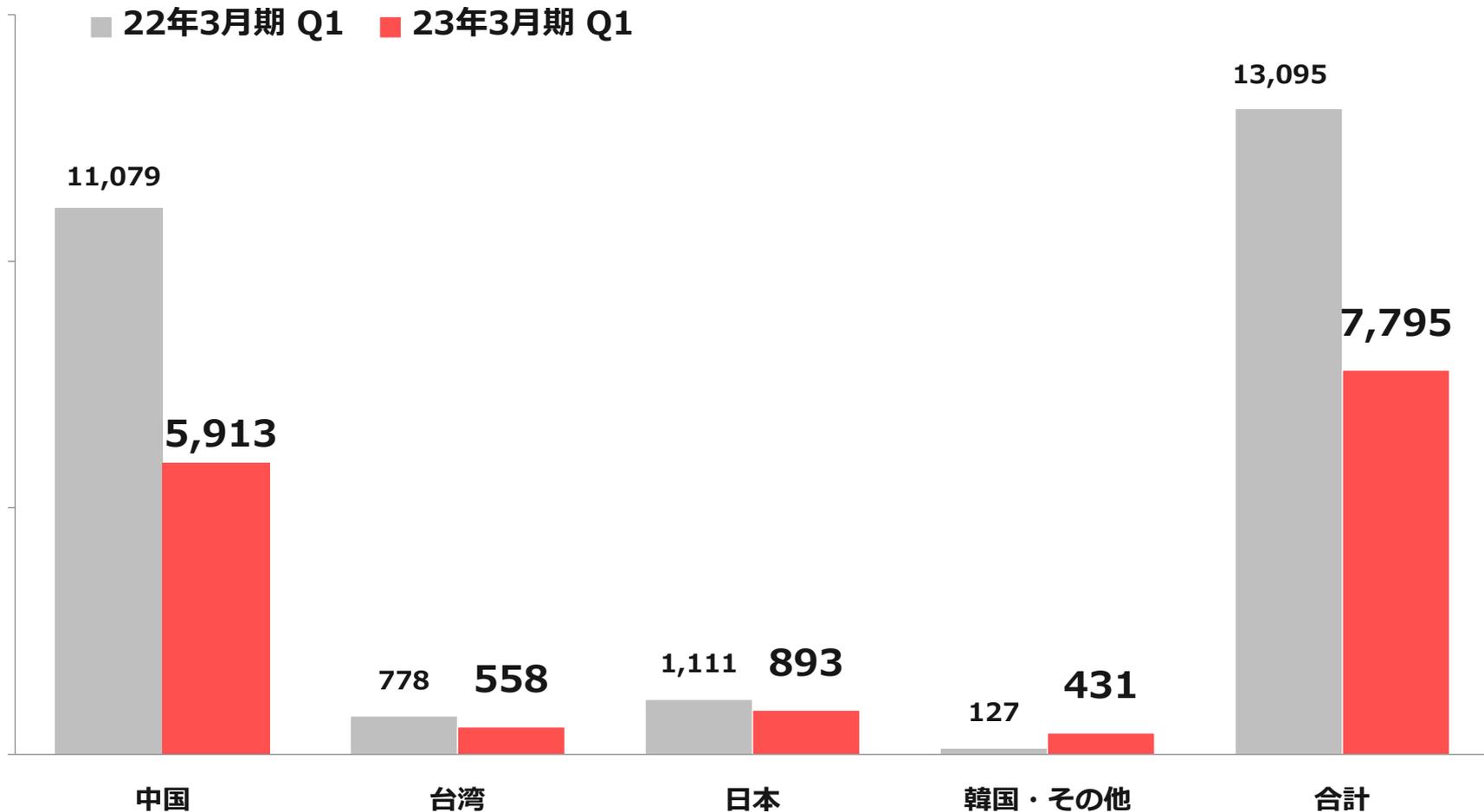
(百万円)	2022年3月期Q1		2023年3月期Q1		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
売上高	13,094	100.0%	① <u>7,795</u>	100.0%	▲40.5%
売上総利益	3,687	28.2%	2,582	② <u>33.1%</u>	▲30.0%
営業利益	1,312	10.0%	452	③ <u>5.8%</u>	▲65.5%
経常利益	1,238	9.5%	1,098	④ <u>14.1%</u>	▲11.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,145	8.7%	719	9.2%	▲37.2%

連結業績(セグメント情報)

セグメント情報 (金額単位：百万円)		22年3月期Q1	2023年3月期 Q1		
		金額等	金額等	前年比増減 (▲は減少)	補足
半導体・ フォトマスク 装置	売上高	2,550	① 1,322	▲1,228	半導体設備需要は堅調に推移 表内①～③について ① 売上時期の問題で前期比大幅減 ② 構成比は今後増加見込み ③ 売上減で一時的にマイナス ～NSS, LTJ, OHT, 及びVTの関連事業で構成*～ <div style="float: right; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> 期初通期 予想通り </div>
	構成比	19.5%	② 17.0%	▲2.5%	
	営業利益	163	③ ▲197	▲360	
	構成比	12.4%	—	—	
	利益率	6.4%	—	—	
FPD 装置	売上高	10,438	④ 6,187	▲4,251	中国への出口政策、円高相場低迷等の影響で設備需要は減衰 表内④～⑤について ④ 注残案件の延伸影響 ⑤ 粗利率上昇も、売上減幅大きく減小 ～VT及びOHTの関連事業で構成*～ <div style="float: right; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> 期初通期 予想通り </div>
	構成比	79.7%	79.4%	▲0.3%	
	営業利益	1,176	⑤ 697	▲479	
	構成比	89.6%	—	—	
	利益率	11.3%	11.3%	0.0%	
その他	売上高	105	⑥ 284	+180	事業等：上記以外の事業で構成、異分野参入挑戦 表内⑥について ⑥ 今年度からIT事業が通期で寄与 ～Lumiotec, Imec, Itec(IT事業)で構成*～
	営業利益	▲27	▲47	▲20	
	利益率	—	—	—	
連結	売上高	13,094	7,795	▲5,299	*子会社略称補足 NSS:(株)ナノシステムソリューションズ LTJ:(株)リソテックジャパン OHT:オー・エイチ・ティ(株) VT:(株)ブイ・テクノロジー Lumiotec: Limiotec(株)…有機EL照明事業 Imec: 愛美客農業科技…農業事業 Itec: アイテック(株)…IT事業
	営業利益	1,312	452	▲860	
	利益率	10.0%	5.8%	▲4.2%	

(参考) 地域別連結売上高 (単位：百万円)

▶ 中国：主にFPD装置事業の売上減による (中国販売比率：75.9% 前期比▲8.7%)



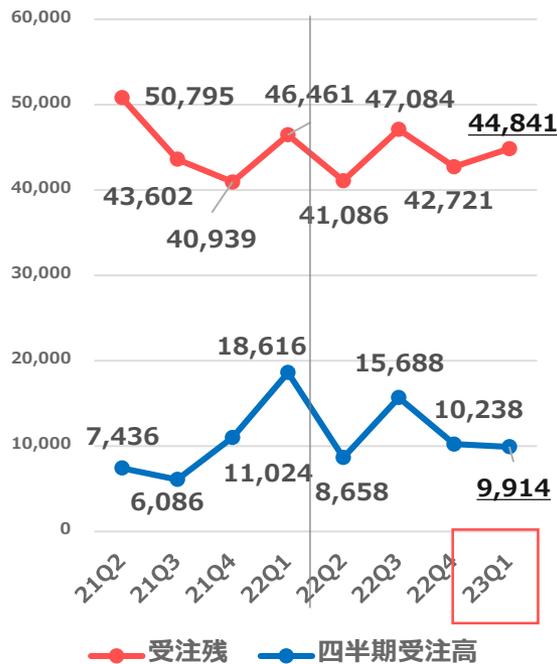
連結受注高・受注残の状況 (単位：百万円)

▶ 収益構造改革が進展

- ▶ 半導体・フォトマスク：堅調な設備需要を背景に受注・受注残ともに大幅増、注残割合は27.0%(YoY + 14.6%)
- ▶ FPD：パネル市況悪化による設備需要の低迷等から受注は前期比▲72.6%

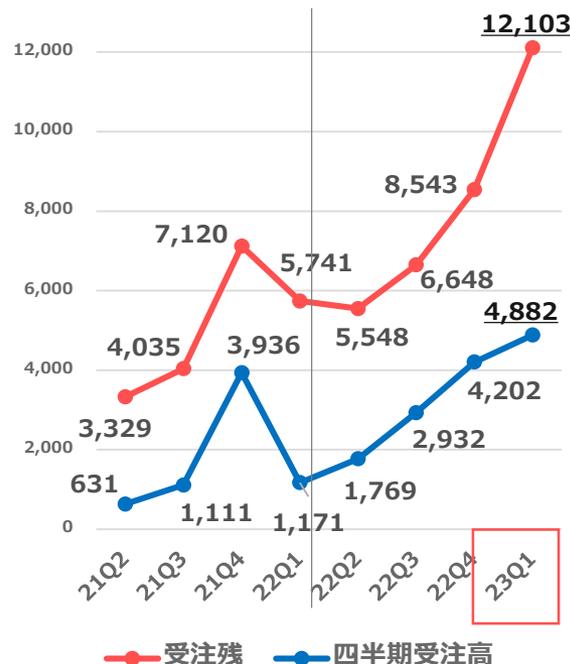
連結

	22年Q1	23年Q1	YoY
受注(3カ月)	18,616	9,914	▲46.7%
受注残	46,461	44,841	▲3.5%



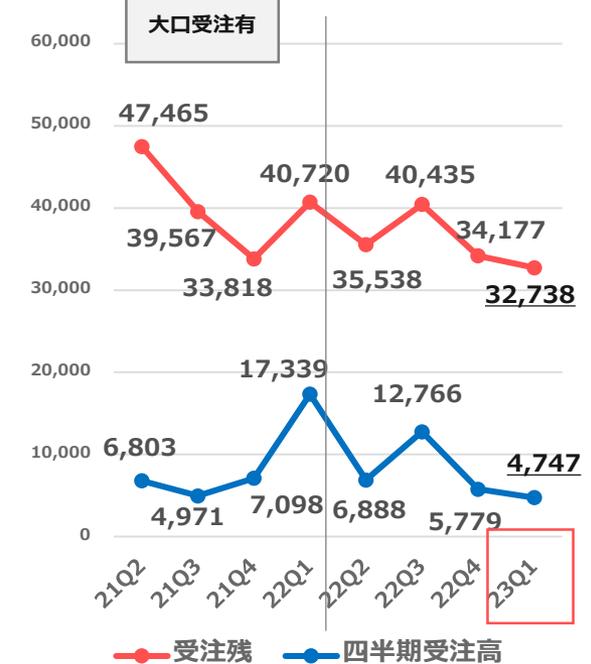
半導体・ フォトマスク

	22年Q1	23年Q1	YoY
受注(3カ月)	1,171	4,482	+316.8%
受注残	5,741	12,103	+110.8%

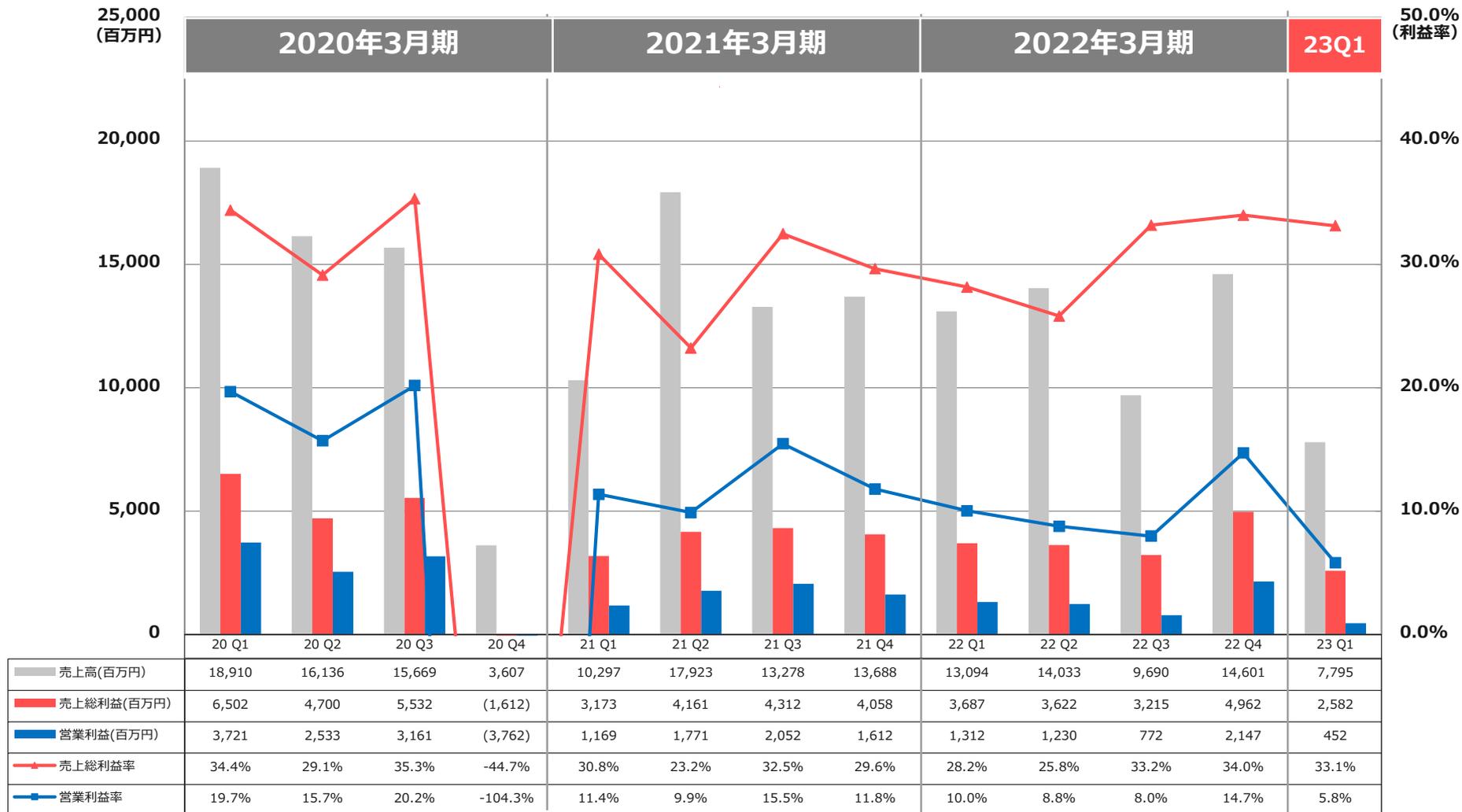


FPD

	22年Q1	23年Q1	YoY
受注(3カ月)	17,339	4,747	▲72.6%
受注残	40,720	32,738	▲19.6%



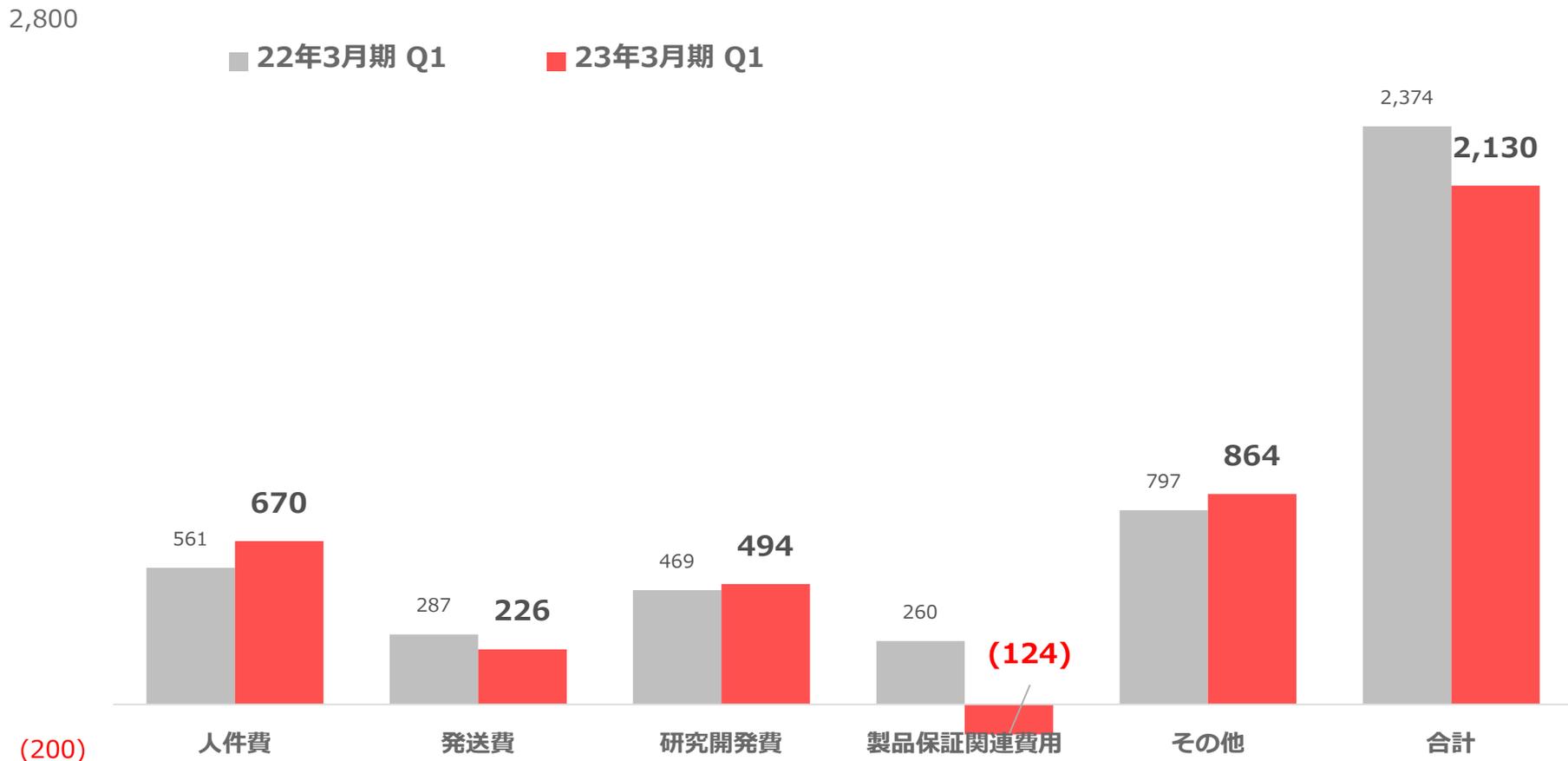
(参考) 四半期毎連結売上高・利益の推移



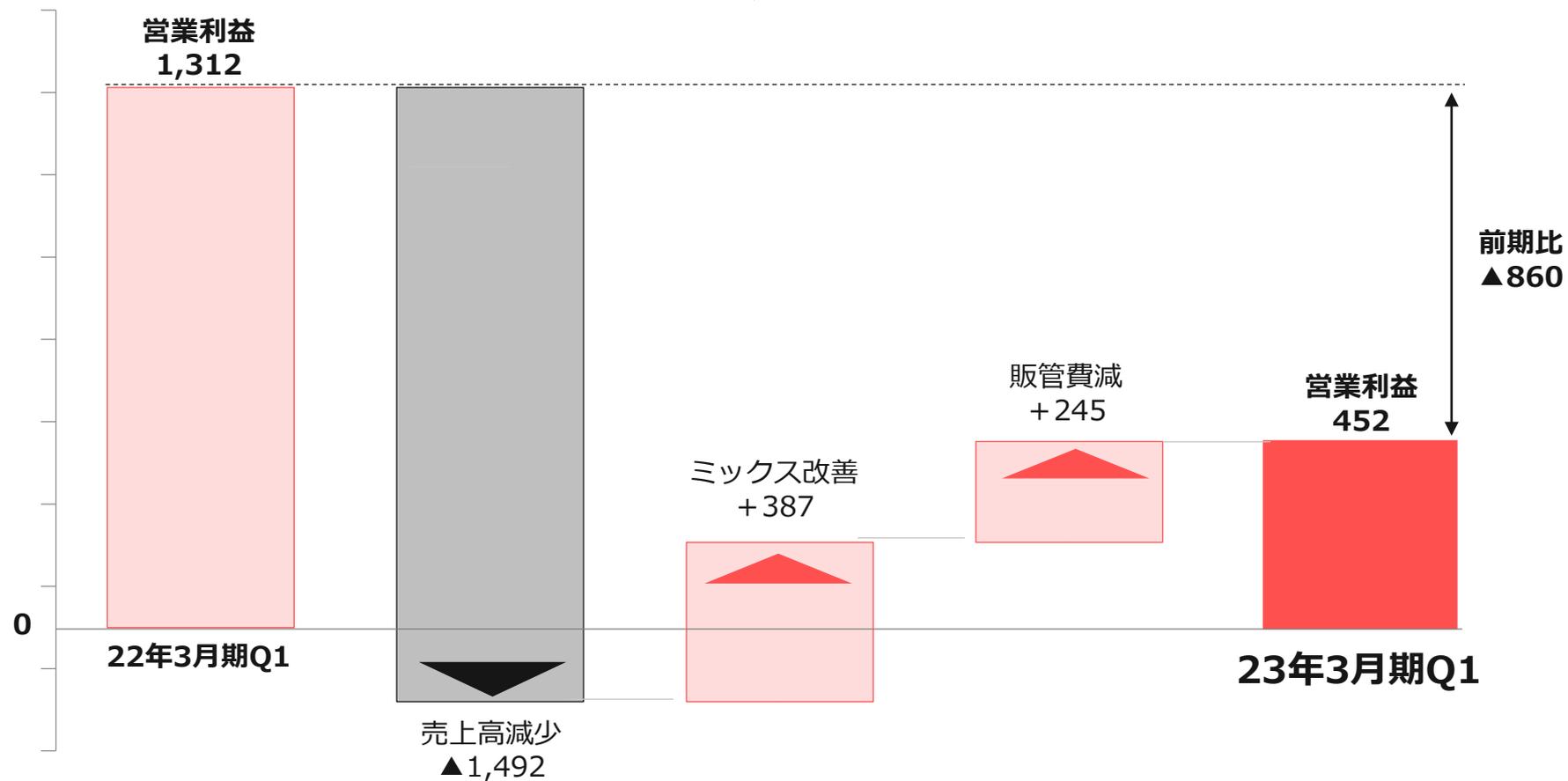
販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

- ▶ 売上販管費率 +9.2%：販管費は244百万円の減少も売上減の影響
- ▶ 人件費 +109百万円：子会社増等に伴う影響
- ▶ 製品保証関連費 ▲384百万円：売上減及び無償保証期間の終了等による戻入



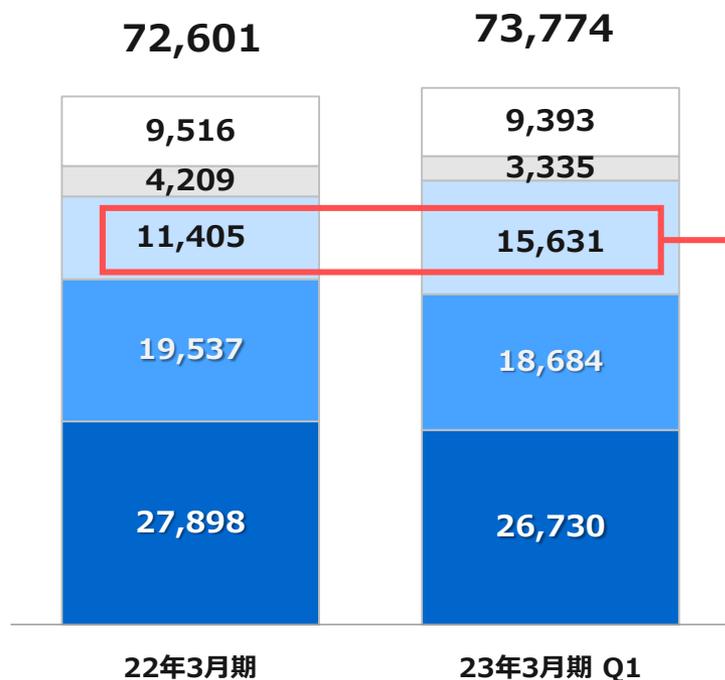
(参考) 連結営業利益の差異分析 (単位: 百万円)



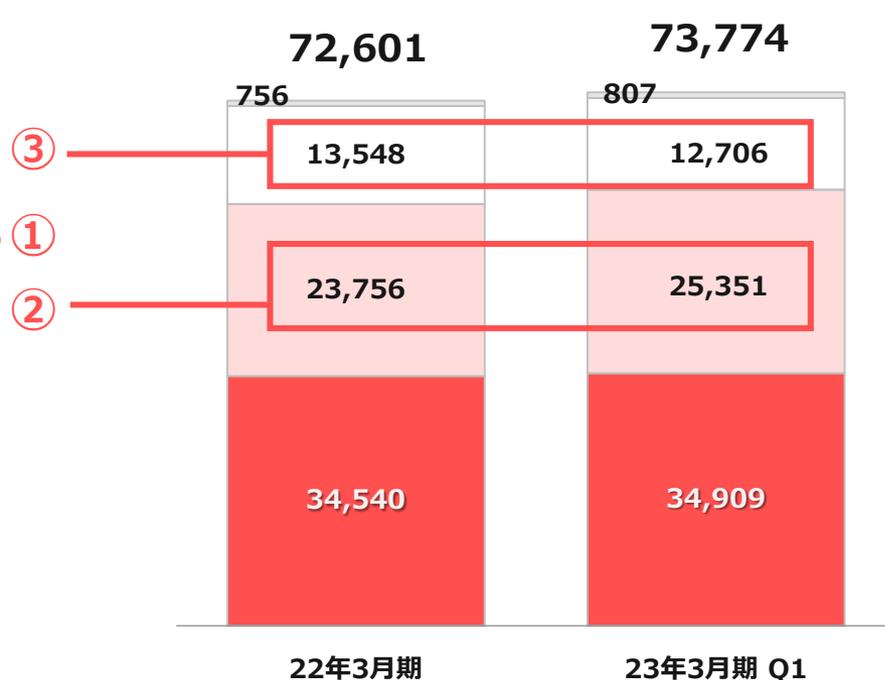
連結貸借対照表の推移 (単位：百万円)

- ① 棚卸資産 +4,226百万円：主に露光装置関連の仕掛品の増加(前Q1と同水準)
- ② その他流動負債 +1,595百万円：主に電子記録債務、前受金の増加
- ③ 借入金 ▲842百万円：主に長期借入金の返済による減少

総資産



負債・純資産



■ 現金及び預金 ■ 受取手形及び売掛金 ■ 棚卸資産
 ■ その他流動資産 ■ 固定資産

■ 純資産 ■ その他流動負債
 ■ 借入金 (短期・長期) ■ その他固定負債

| 通期業績及び配当の予想

通期業績および配当の予想…期初と変更無

▶ 事業環境 : 注視継続

- ▶ 半導体フォトマスク : 半導体需要は中長期で成長、設備需要はマクロ経済影響から短期で変化も堅調に推移
- ▶ FPD : 足元のパネル価格低迷からLCD装置需要は減少、大型OLED・次世代パネル関連は中期的で成長

▶ Q2見通し : 期初想定通り。利益はQ2の底打ち後、Q3から回復を予想

- ▶ 半導体フォトマスク : Q1比で**売上・利益共に回復**
- ▶ FPD : Q1比で売上増も、**利益は一時的なミックス悪化で減少し底打ち、Q3から回復**

連結業績予想	2022年3月期(実績)		2023年3月期予想(5/13公表)		前期比増減率
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	51,418	—	45,000	—	▲12.5%
営業利益	5,461	10.6%	4,500	10.0%	▲17.6%
経常利益	5,868	11.4%	4,400	9.8%	▲25.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,198	8.2%	2,900	6.4%	▲30.9%
EPS	434.21円		299.92円		—

配当の状況	22年3月期(実績)	23年3月期(予想)
中間	60円	60円
期末	60円	60円

その他のトピックス

収益構造改革(半導体・フォトマスク装置事業の成長促進)

▶ 株式会社イーエフイーをグループ傘下に吸収(5月13日)

- ▶ ウェハ検査装置メンテナンスおよびカスタマイズに強み
- ▶ メンテナンス体制および小インチサイズウェハ対応力の強化

技術開発力の強化と生産コストの削減

▶ YRPイノベーションセンター竣工式(8月2日)

- ▶ 海外からの顧客アクセスに優れる横須賀リサーチパークに設立
- ▶ 研究設備を同センターに集約し、運用効率を向上
- ▶ 基幹部品の一貫生産によるコストダウンの他、農業生産技術の研究開発を実施

その他

▶ 報告セグメントの変更

- ▶ 「FPD事業」及び「半導体事業」の報告セグメントを、収益構造の変化に伴う経営上の管理区分の見直しの為、当Q1より「FPD装置事業」及び「半導体・フォトマスク装置事業」の区分に変更



V-TECHNOLOGY

お問合せ先

社長室IRグループ

vtj-mng-pre@vtec.co.jp

